



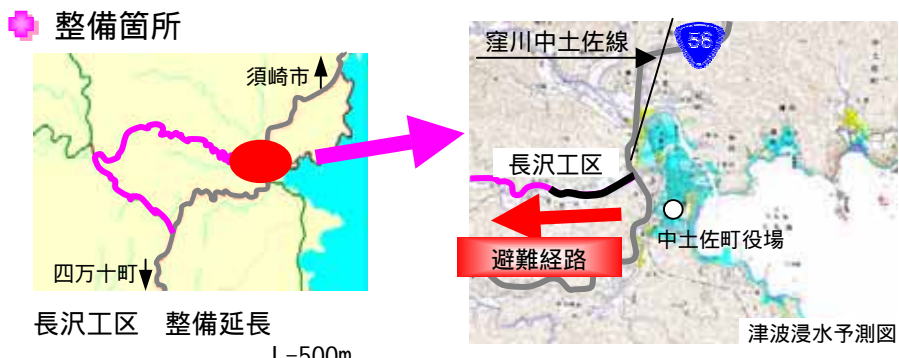
対象事業 NO.5

南海地震に伴う中土佐地区の津波避難を支援する道路整備 整備効果事例《県道窪川中土佐線・中土佐佐賀線・久礼須崎線》

県道窪川中土佐線

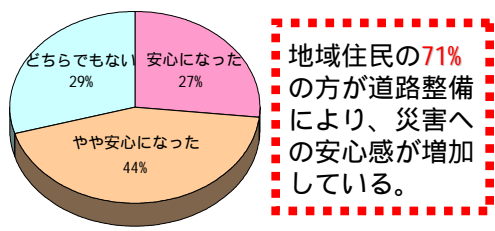
路線の特徴
中土佐町久礼（国道56号）から旧大野見村を通り、国道56号へ繋がる道路です。南海地震時には、中土佐町中心部の住民の避難道路としての役割を果たす道路です。

整備の目的
避難道路としての十分な幅員を確保し、中土佐町久礼地区の住民の避難活動を支援する道路整備を行いました。

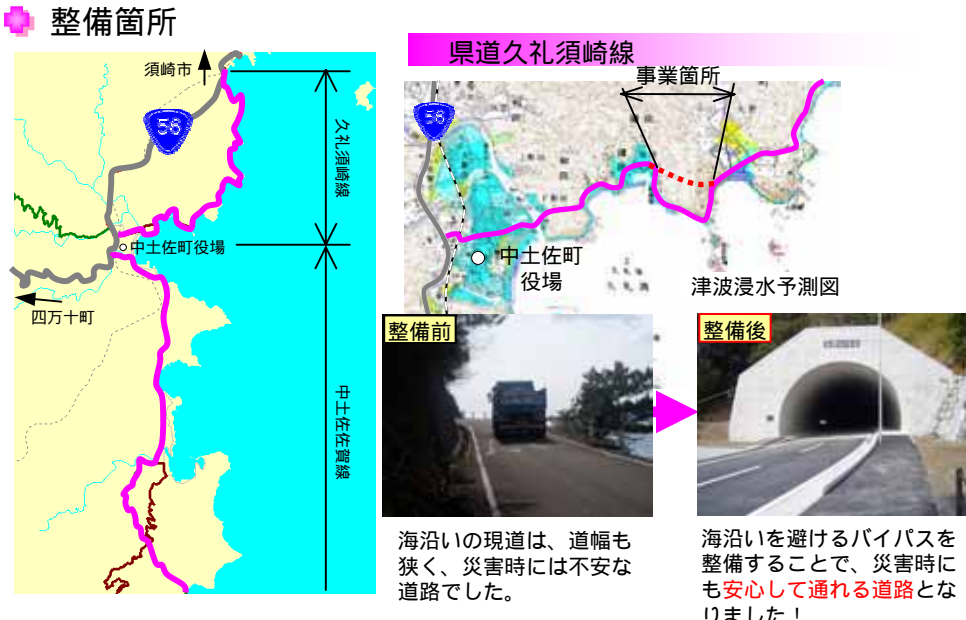


住民アンケート結果

問 道路が整備されたことによって南海地震に対して安心できるようになりましたか？



県道中土佐佐賀線・久礼須崎線

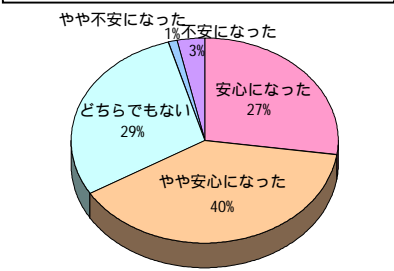


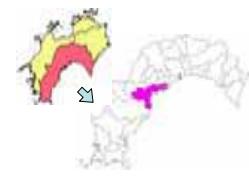
県道中土佐佐賀線



住民アンケート結果

問 南海地震に対して、道路の整備によって、道幅が広くなり緊急車両（救急車・消防車等）・病院・避難場所等への通行がしやすくなったことにより安心できるようになりましたか？



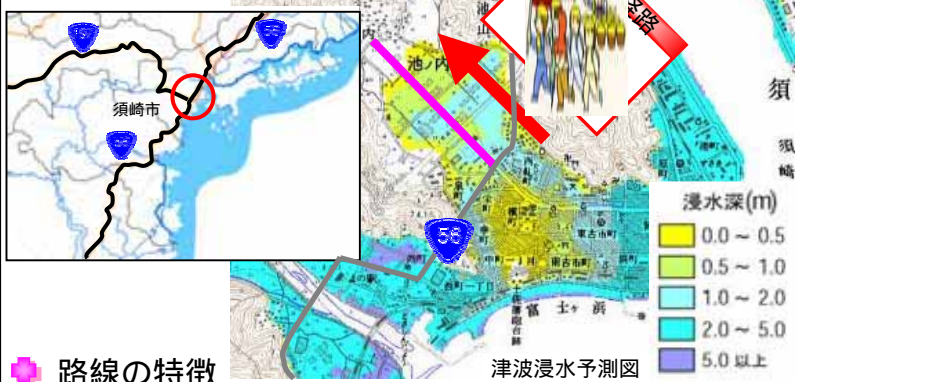


対象事業 NO.5

南海地震に伴う中土佐地区の津波避難を支援する道路整備 整備効果事例 《市道池ノ内7号線・住民アンケート結果》

市道池ノ内7号線

整備箇所



路線の特徴

須崎市池ノ内地区では、ほぼ全域で津波被害が予測されている。池ノ内地区の中心を通る本路線は、住民避難の際には大きな役割を果たす路線である。

整備の目的

道路整備により、災害時の住民の避難活動、救急救命活動を円滑に行えるよう支援する。

整備箇所

池ノ内工区 整備延長 L=400m

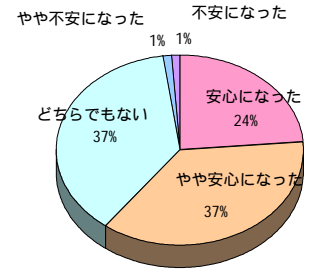


整備前



整備後

道路が整備されたことによって南海地震に対して安心できるようになりましたか?



住民アンケート結果

調査概要

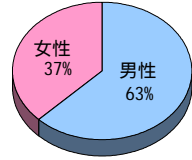
配布 450通 代表路線沿線住民
 ・県道窪川中土佐線
 ・県道中土佐佐賀線
 ・市道池ノ内7号線(須崎市)

回答数 276通 回収率61%

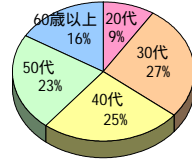
効果

基本属性

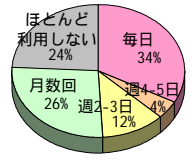
性別



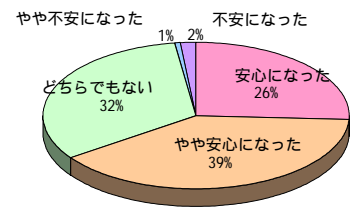
年齢



道路の利用状況

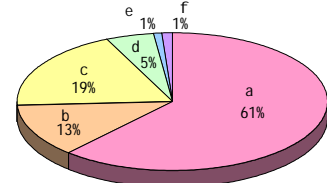


道路整備による災害への安心感



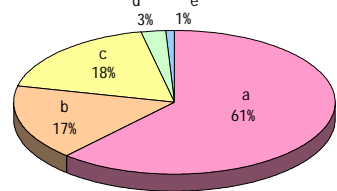
地域住民の65%の方が、災害に対しての安心感が増えています。

避難路としてよくなった点



- (a)道幅が広がった
- (b)避難場所まで早く行けるようになった
- (c)災害に強い道になった
- (d)標識・看板等の設置により、避難経路が分かりやすくなった。
- (e)変わらない
- (f)その他

災害時の救命、救助活動について安心できるようになった点



- (a)緊急車両の通行がしやすくなった
- (b)医療施設までの道が良くなった
- (c)道路分断による地区の孤立の心配がなくなった
- (d)変わらない
- (e)その他

災害時の避難・救助活動において、道路は重要な役割を果たす。その道路を整備することにより、沿線住民の災害に対する安心度は、大きくなっています。